

# 古都祝奈良2022-2023 事業計画(案)

# □ 令和4年度 事業方針

---

- 令和3年度から「演劇」と「美術」を順番にメインとなるプロジェクトにしており、令和4年度は「美術」をテーマとする。
- 若い世代が参加できるプログラム展開をすることで、特に小中高・大学生の創造性や表現力を高める。
- 2016年の東アジア文化都市事業開催以降、様々な人材の活躍が特に「美術」「演劇」分野において顕著であり、本事業開催を協働で進めていくことで、ネットワークの強化を図る。

# □ 令和4年度 事業概要

---

## クリエイション・プログラム（メインプログラム）

- ・コロガル公園プロジェクト【新規】

## ラーニング・プログラム

- ・グリーン・マウンテン・カレッジ
- ・青少年対象演劇ワークショップ
- ・アートとまちづくりカンファレンス

# □ 各プログラム 企画案

---

## コロガル公園プロジェクト

参加作家：会田大也（山口情報芸術センター）

ディレクション：一般社団法人CHISOU

### 作家について

2003年開館当初より11年間、山口情報芸術センター（YCAM）の教育普及担当として、メディアリテラシー教育と美術教育の領域にまたがるオリジナルワークショップや教育コンテンツの開発と実施を担当する。あいちトリエンナーレ2019ラーニング・キュレーターを経て、2021年現在、YCAMアーティストティック・ディレクターを務める。



# □ 各プログラム 企画案

---

## 企画趣旨

「古都祝奈良」のクリエイション・プログラムとして、遊びを通じた創造力の涵養につながるアートプロジェクトを実施する。

子どもたちを中心とした利用者が、自分たちで遊び方やルールを作るなど、コミュニティづくりを行うことで、遊びのなかで考え、創造力を育むことができるアート作品を展開する。

## ディレクションについて

本プログラムのディレクション（監修）については、一般社団法人CHISOU（代表理事 西尾美也氏）が行うことで、会場デザインや運営、広報等を統一的な手法で推進する。

# □ コロガル公園シリーズについて

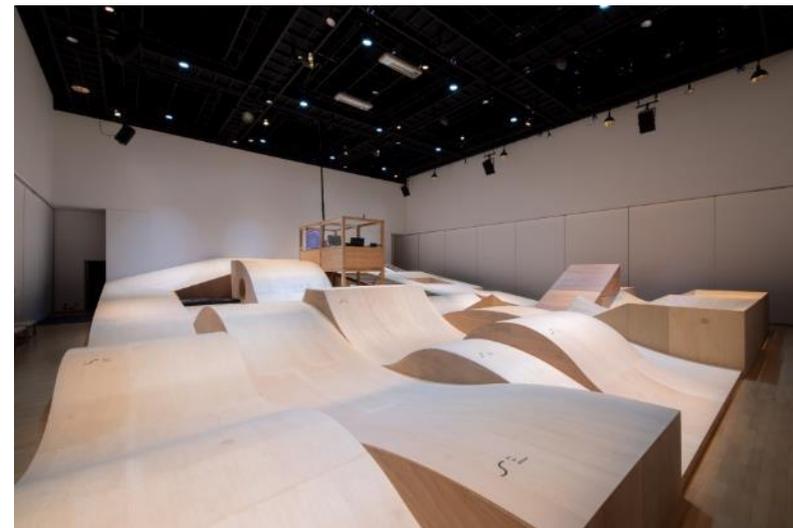
「コロガル公園シリーズ」は子どもたちが遊びを通じて考え、創造力を育む環境として、山口情報芸術センター（YCAM）が制作する公園のシリーズ。2012年の「コロガル公園」を皮切りに、「コロガルパビリオン」（2013年）や「コロガルガーデン」（2016年）といった新バージョンを発表するたびに好評を博し、東京と札幌でも実施。



コロガル公園（YCAM）2012



コロガルガーデン（YCAM）2016  
撮影：山中慎太郎（Qsyum!）



コロガル公園 commons（YCAM）2018  
撮影：山中慎太郎（Qsyum!）

# □ 各プログラム 企画案

## グリーン・マウンテン・カレッジ

校長：小山田徹（美術家／京都市立芸術大学）

開催時期（予定）：10月～12月

### コンセプト

「古都祝奈良2018-2019」より継続実施。  
ならまちセンター芝生広場を会場に、焚き火を囲みながら、ゲストと校長小山田氏とのトークを楽しみ、その後参加者同士でのコミュニケーションを楽しむ。  
令和3年度は「奈良若者サポートステーション」の協力を得て、働くことに悩みを持つ若者がボランティアとして従事している。



# □ 各プログラム 企画案

## 青少年対象演劇ワークショップ

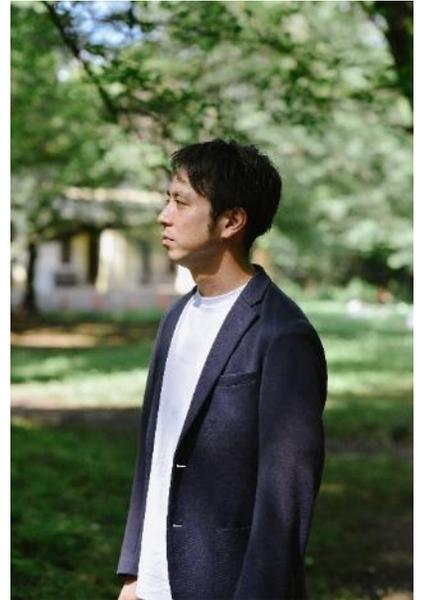
プログラムデザイン：田上豊（劇作家・演出家）

開催時期（予定）：8月～12月

### コンセプト

これまで毎年度開催してきた「青少年と創る演劇」のノウハウを活かして、特に中高生を対象とした創作体験プログラムを実施する。

プログラムデザインを、奈良の中高生たちと長年演劇を創作してきた田上豊氏（劇作家・演出家）が行い、奈良の演劇関係団体や個人がプログラムに参画することで、内容の質を担保するとともに、奈良の演劇関係者のネットワーク化を図る。



撮影：金子愛帆

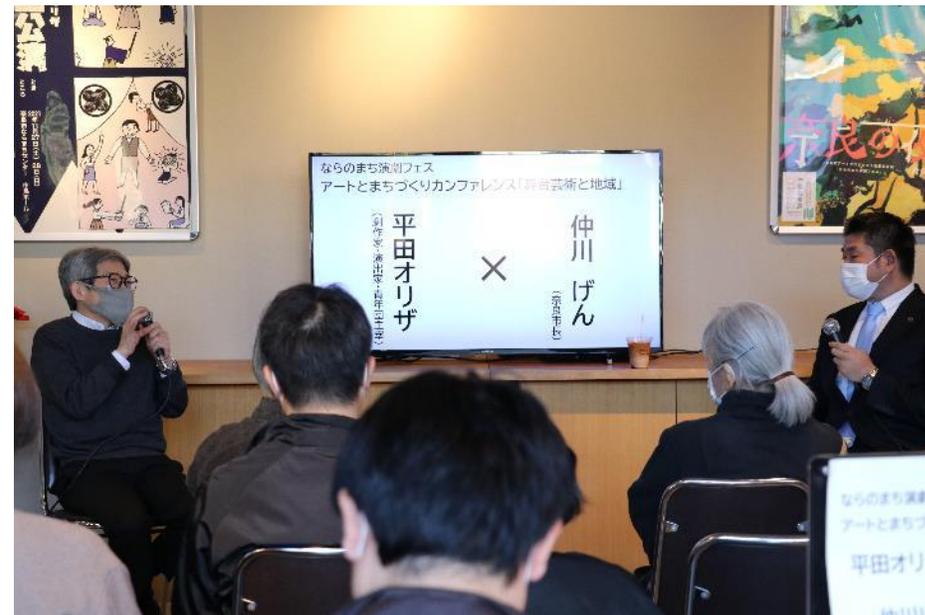
# □ 各プログラム 企画案

## アートとまちづくりカンファレンス

開催時期（予定）：8月～12月

### コンセプト

アートを活かしたまちづくりを考えるためにセミナーやワークショップを開催。文化芸術の専門家のみならず、様々な分野で活躍する人を講師に迎え、各分野の関係者の参加を促すことで、アートによる他分野への波及効果を狙う。



# □ 実施体制について

---

## ワーキングチームについて

各プログラムの企画推進にあたっては、関係者や専門人材によるワーキングチームを構成する。

ワーキングチームは、プログラムの企画調整のみならず、今後の事業展開や市の文化芸術振興につながるよう、ネットワークを強化することも設置の目的である。

## 地域コーディネーターについて

各プログラムを地域で推進するうえで広報等を行う「地域コーディネーター」には、奈良で様々なアートイベントを主催するなど、地域における芸術普及事業、地域活性事業、ネットワーク事業を推進する一般社団法人はなまるを指名する。